

## 委員会だより

< 4月6日(日) 11名出席 >

### カンペンハウド神父様のお話

今日が最後になります。中和田教会の生涯養成はこれから始まります。今後は、聖書の勉強会など、求道者を積極的に迎え入れていただきたいと思ひます。気づいたこととして、典札上、いろいろな方々に役割を与えてほしいです。一人の人で簡単に済ませることはプラスにはなりません。みなさんのことは忘れません。みなさんのために祈っています。



- 3月度財務報告(甲斐委員欠席の為、次回まとめて報告)
- 一粒会報告 (竹内委員 …… 資料あり)
  - ◆ 検討事項: 今年の横浜教区一粒会大会(静岡の予定)への参加交通費について、これを「派遣費」と考えて、参加者の交通費を多少補助していただけないか。(一粒会委員会の提案) ⇒ 前向きに考える。
- グルニエ神父様歓迎会について
  - ◆ 4月27日ミサ後聖堂において、委員長あいさつと子どもによる花束贈呈。その後“サロン”において歓迎会。
- 神父様の祭服の新調と聖具購入について
  - ◆ 現在中和田教会にあるカズラは、黒と赤のみ。他に白色が必要。グルニエ神父様と相談した上で検討する。
  - ◆ カリスとチボリウムを新しく購入しました。
- 聖書の購入について
  - ◆ 先の黙想会にカンペン神父様が持参された聖書が好評だったので、まとめて購入することにし、教会備えつけとして利用します。(日本聖書協会 刊、共同訳)
- 葬儀に関するマニュアル作成について (壮年会提案事項 参考資料あり)
  - ◆ 今後のことも考えて、壮年会の提案に従ってすすめます。物品購入見積もりやマニュアルづくりは壮年会で検討していただきます。
- 山崎神父様関連の不用品の整理について
  - ◆ 先月の委員会で廃棄を業者に依頼するように決めましたが、経費が高額となったため、武田氏に協力を依頼し、快く受けていただき終了した。(謝礼は別途検討)
- グルニエ神父様着任後のこと
  - ◆ 神父様は、5月18日～6月3日までカナダへお帰りになる予定です。
  - ◆ 今後、教会当番が必要な場合、当番はボランティアとしての参加となります。
- 要理学校のこと
  - ◆ これから一年間高野助祭が担当して下さるが、要理学校の協力者をだれか若いお母さんたちをお願いしたい。方法、日時についてはグルニエ神父様と相談のうえで決める。
  - ◆ グルニエ神父様の意向では、今年の初聖体は11月頃の予定。
- その他
  - ◆ 門前にお知らせ用の掲示板を設置してはどうか?
  - ◆ 福島委員が祭壇に掲げる十字架を修理していただきました。
  - ◆ 小野寺委員から、今後青少年担当として山本(仁)委員が中心になることを明確にしてほしい旨申し出がありました。また、第5地区福音宣教委員としても山本委員と小野

委員に主になっていただき、ご自分はサポート役にまわりたいとの意向が示されました。

## 壮年会だより

< 4月13日(日) 9名出席 >

- 4/6 教会委員会報告(詳細は委員会だより)
- 審議事項
  - 5月の聖書朗読者 ・5/4竹内さん ・5/25富田さん
  - 4/13教会委員会からの要請事項
    - 葬儀等手伝いについて
 

葬儀手伝いのための用具は順次取り揃えることとし、当面は、誘導用懐中電灯(夜間赤灯点滅)、教会案内地図、カラーコーン(駐車禁止札を取り付ける円錐柱)を購入し「中和田カトリック教会葬儀当日マニュアル」(中和田カトリック教会壮年会)を制定する。今後は、教会腕章(新設)、雨具等の購入に合わせ、「中和田カトリック教会葬儀当日マニュアル」を修正する。
    - サロンの運営について
      - ◆ 壮年会の総意により「サロン運営」を見直しするため、役員作成の「サロン運営アンケート」(案)が提案され、5月の壮年会にて審議する。
    - 平成15年度 壮年会行事予定
      - ◆ ご復活前大掃除4月19日(土) 同時に「庭木剪定」を行なう。集合は10時00分【連絡網で廻す】
  - 自由発言
    - 壮年会資料整備
 

「壮年会常備資料」として、壮年会運営規定、壮年会名簿、壮年会連絡網、年間行事、総会議事録、例会議事録等を『ファイリング』し(書籍棚に常備)、会員に常時閲覧できるように整備する。



## 婦人会だより

< 4月13日(日) 23名出席 >

- 委員会報告(委員会だより参照)
  - お知らせ
    - ◆ 4月17日(木)は第3木曜日にあたりますが、聖木曜日の典札もありますので、バザーの仕事は中止いたします。
    - ◆ 4月19日(土)午前10時から大掃除とたまご作りを行ないます。
    - ◆ 横浜教区婦人同志会がイラク戦争における犠牲者、とくに子どもや女性のいのちの犠牲のために行なうことになったロザリオのリレーを、4月中の毎週金曜日は中和田教会が担当して行なっています。午前10時からレジオ・マリエを中心に、「光の玄義」で祈っています。みなさまご参加ください。
    - ◆ 6月の例会後に不用衣料品の交換会をします。聖堂入口わきにダンボールをおきますので、ご家庭に眠っている衣料品をお持ち寄りください。
  - その他
    - ◆ 泣き部屋の要・不要についての話し合いがもたれました。
- 次回例会は5月18日(日) 当番はD地区です。



## 広報 なかわだ

第290号

5月の予定

委員会	5月 4日
壮年会、婦人会	5月 18日
聖歌の集い	5月 25日
サロン	5月 11, 25日
レジオ	5月 9, 16, 23日



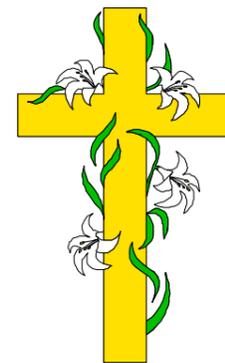
2003年 5月号

中和田カトリック教会  
 広報委員会発行  
 泉区中田北1丁目9-1  
 Tel. (045) 803-6141  
 平成15年5月11日



## 中和田へ向かう道は、いつも晴れでした

東京カトリック神学院モデラートル 上杉 昌弘



ご復活おめでとうございます。復活はわたし達の第二の誕生日です。神のいのちの生まれかわることを喜び合ひましょう。喜び祝うと、体の免疫力も上がり、実際に若返るようですよ。

先輩モデラートルであつた鶴飼神父様から、中和田教会へ行き山崎神父様を手伝うように促されてからもう3年たちます。皆様とご一緒に、たびたび主の祭壇を囲みました。

日曜日の神学校は、神学生がみんな研修のため小教区へ出かけているので、聖堂にはシスター数人の寂しい状態になりますから、これまで10回は下らない回数ミサを、皆様とご一緒できて有り難かったです。私の育った北海道の教会は、日曜日に集まる信徒の数が30人ほどの小さな共同体でしたので、中和田の家庭的な温かな雰囲気が好きでした。教会に好き嫌いがあつてはなりませんが、いつも朝、車をとばして向かう教会への道程は楽しいものでした。

山崎神父様はある時、神学生時代のときのことを私に話してくれました。「私は誰とも争わなかつた。なぜなら、人と争おうにも、人より優れたことが何も無いのだから」と。決して私に教え諭すようにはではなく話された言葉なのですが、くり返し思い返され胸に刻まれています。

いまも神父様は病床で、最後の主任となつた中和田教会の信者一人ひとりのために祈つてくださっているでしょう。私は主任の経験が3年余りと乏しいので、山崎神父さまと皆様との親子のような暖かな関係に触れさせていただき、多くのことを学ばせて頂きました。今度いらっしゃるグルニエ神父さまと皆様とが創る「キリストの体」。そのキリストにまた会いに行けることを、今から楽しみに感じています。

そして、パウロ高野哲夫助祭がこの1年お世話になりますが、どうぞ宜しくお願ひいたします。かれは助任司祭ではなく、司祭叙階一步手前の助祭です。助祭はミサの司式と告解を聴くことはできませんが、司教の「ふところがたな」として司教に仕え、共同体への奉仕をし、特に愛の奉仕に努めます。まだ若い青年ですので、足りないことも多いと思ひますが、助け励まし育ててください。かれが司祭職に就くために必要な養成への協力をお願いいたします。

# 少し健気で、ちよっぴり可哀相だった話

(その2)



竹内 廣治

平成2年2月5日、孫娘が腹痛のため戸塚の病院に緊急入院。翌日転院先の聖マリアンナ医科大学付属病院で「腸閉塞」の手術を受けて、そのまま入院。この件で家中はちょっとしたパニック状態に。

忘れたい気持ちと、懐かしむ気持ちが交叉して複雑な心境である。難しい手術も無事終わり、ほっとした両親の話の聞いてみると、入院が長びきそうなので3学期は全休するかも。学校と友達が大好きな子だから諦めさせるのが大変とか、病院が遠いのが不便とか、あれこれグチがこぼれるのは、結局娘の病状が落ち着いたので、安心の気持ちがそれを言わせるのでしょう。

かって私も体験した「腸閉塞」。波がうねる様な独特の疼痛を孫も体験させられました。私の場合は、胃ガンを手術、退院まもなくいい気になって暴食したのが原因なので、自業自得と諦めますが、この子は何の科があって、こんなに苦しまねばならないのか。祈る様に我慢している姿を見ると、不憫で不憫でいたたまれない気持ちになるのです。だから、せめて入院中は、美味しいものをドッサリ抱えて見舞いに日参しようと考えました。

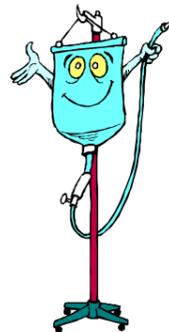
さあ孫の入院生活の始まりです。手術の後の痛みは大分遠のいた様で、笑顔が戻ってきたベッドは明るさを感じます。いよいよ回復への日々の始まりです。喜びの日の到来を指折り数えるその日数、それは、退屈と寂しさを我慢する日々でもあるのです。

この病院はカトリック系だから、優しくて親切なのは当然と思いつつ、そこに働く人達の労苦を思うと贅沢は言えない。然し、訪問を続けるうちその心配はなくなり、特に小児病棟では肉親以上の扱いだったのは幸せなことです。医師、看護師の若々しいユニホームが、色どり一杯の病室とマッチしてなかなかよろしい。後日孫が転院のとき、お世話頂いた皆様やお友達と、離れ難し去り難しで大泣きされ、往生したことがその証しです。

長期の入院患者にとって楽しみと言え、食事、それも悪評高い病院食であってもです。私の経験からすると、それは夕食、殊にそれが済んだ後の洩然とした解放感がたまりません。小児病棟の許される面会は夕食時間と重なります。入院中の子供達にとっては待ちに待ったゴールデンタイムです。じっと我慢でいたのです。この時とばかりに、甘える、はしゃぐ、泣きべそで何かを訴える…。病室は一段と賑やかになり、何だか部屋が膨らんだ様です。限られた時間は足早に過ぎて、面会の人達は帰り支度です。背に子供の視線を感じつつドアに向います。そのドアの大人の背丈あたりに、病棟に出入りのたび毎に施錠する鍵が付いています。子供の事故防止のためと聞きました。泣いて親の後を追う子を遮断する無情な鍵。安全管理に臨む病院の厳しい姿勢が伺えます。

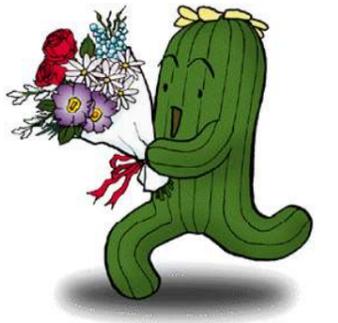
孫のその後はどうでしょう。難しかった手術は、先生方の卓越した技術で完璧な仕上がりがでしたが、癒着して壊死寸前だった部分に変色し、腸としての機能即ち蠕動が弱すぎるので、いま暫くこの部分の治療を続け経過を見るとのこと。衰れや入院してからこのかた、一粒の米、一滴の水も喉を通しておりません。見舞いのお菓子を喜んで食べ、楽しそうに話をする様子を夢みていた私には、ショックな知らせです。当分の間飲食を禁じられた子の、入院生活の中で一番楽しく一番嬉しいその時間がカットされるのはあまりにも無情な話。可哀相でこちらが泣きたい気持ちになりました。

ある寒い日、見舞いの当番で病棟を訪れる。トイレの戻りか、身体を折って点滴台にす



がりつく様に歩いてくる孫の姿を見かける。今日検査があつてお腹が痛いと言う。細くなった身体をよじってベッドに横たわる。涙をこらえている状を見ていると、切なくて慰さめる言葉も浮かばない。よりによってこんな日に検査なんぞと思つても仕方がない。気を紛らせようと話かけても、黙っているだけである。ほどなく夕食の配膳が始まる。やがて周りが話し声で賑やかになってきた時、顔見知りの看護師さんが孫に顔を近づけて、「おじいちゃんが来てくれてよかったね」と言い乍らベッドを囲むカーテンを引いてくれる。その思いやりが何とも嬉しく、孫もそのたび毎に「ありがとう」と礼の言葉を忘れない。カーテンの中は、羨望と孤独を忘れさせる癒しの空間であろう。「早く治って一緒にご飯たべよう」と言うと、潤んだ目でコックリをする。この哀しい囲いの習慣も、はやく懐かしい思い出となる様に念じてバイバイ。「寝ていなさいね」と言ったのに、淋しくなったのか、ドアの内から千切れる如く手を振って見送る姿が目に入る。可愛いと思うとなおさら可哀相。抱きしめてやりたい衝動に涙を押さえ、たまらず病院の階段を駆け降りる。夜空に祈りました。「神よ、貴方の愛する子が病んでいます」と。

孫の飲食禁止は40日余に亘りました。入院中は点滴注射だけで過ごす辛い日々。その甲斐あつて無事退院致しました。遅れた勉強もスポーツも、人も驚く頑張りで見事に挽回。その回復ぶりを、お世話頂いた方々に見て頂きたいし、誉めても頂きたいと心から思っております。 神に感謝。



## お知らせ

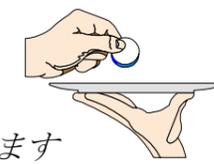
### 高野 哲夫 助祭 叙階式

4月16日 助祭に叙階されました。  
高野助祭のご出身は御殿場教会です。  
(広報4月号の自己紹介をご参照下さい。)



### 受洗 おめでとうございます

ヨゼフ 岩崎 滋様 (岩崎 好愛様ご主人)  
4月19日(土) 中和田教会



### ミサ 当番表 (2003年 5月、6月)

月/日	主 日	朗読、奉納	侍 者	オルガン	月/日	主 日	朗読、奉納	侍 者	オルガン
5/4	復活節第3主日	壮年会	石井(大)	保 科	6/1	主の昇天	壮年会	下 迫	岩 淵
5/11	復活節第4主日	青年会	石井(拓)	岩 淵	6/8	聖霊降臨の主日	青年会	石井(大)	森 田
5/18	復活節第5主日	婦人会D地区	石 崎	森 田	6/15	三位一体の主日	婦人会A地区	石井(拓)	保 科
5/25	復活節第6主日	壮年会	下迫(瑠)	保 科	6/22	キリストの聖体	壮年会	石 崎	岩 淵
					6/29	聖ペトロ聖パウロ使徒	婦人会A地区	下迫(瑠)	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。